第３項 春の拡大月間総括　　　　　　　　　　　　　提案通り承認

（１）春の総括

１）経過

4月24日の大会直後から春の拡大月間をスタート、目標４％、全世代型で対話を重視し、だれ一人取り残さないをかかげ、年間目標１４％の半分、７％までの到達に向かって、組織部は合宿での学習を確信に行動を開始。翌週29日（昭和の日）は9分会37人がＧＷ行動を行い、終了後、支部で学習決起集会を開催し、仲澤分会長の総合司会のもと、楽しく出陣式を行い、支部全体で76人が加入、3・５%の本部目標に到達しました。事業所への訪問では、「従業員がお子さんから感染し、現場にも入れない、そんなときコロナの休業給付で助かった」「3月の売り上げが昨年と比べ3割減、事業復活支援金の請求がうちでもできるかな」建設アクションで困っている仲間に寄り添い、「組合に入っていて助かった」の声をたくさんいただくことができました。ＧＷ中もメーデーや憲法集会、けせんプロジェクト、伊藤千恵子の生涯上映会など旺盛な活動に多くの組合の仲間が参加し、「集まれない」ではなく、「できることをしよう、対話を広げよう」と拡大月間の活動量も昨年に比べ飛躍的に伸びました。

5月15日に日曜行動が5分会で取り組まれ、7人が加入、北部さくら、目黒中央、目黒桜、みどり、など複数分会が平日行動、週末行動を展開し、また柿の木八雲のランチ会、北部桜の屋形船、原洗碑の分会レクなど月間中の仲間の結集も終盤までの大きな盛り上がりと運動を止めない構えが作れました。

5月22日分会長書記長会議以降も７％目標を堅持し、活動も加入も昨年を上回るペースでの追い上げがあり、月向分会ではＣＣＵＳの加入手続きを行政書士に頼んだがなかなか進まないという対象者の声から、キャッシュバックや登録機関の強みを生かして交渉し、13人の大量拡大をかっさらうなど5月30日の拡大打ち上げ当日には全分会が月間目標を達成して、八芳園に67人が参加しました。八芳園は本部中村隆幸委員長も参加、新加入9人、新加入者の所属事業所も複数参加があり、名刺交換で分会を超えたつながりづくりもできました。

２）結果

結果は、141人が加入、４％達成分会が全分会、７％達成分会は目黒中央、学芸大、目黒桜、原洗碑、柿の木八雲、みどり、月向、事業所。青年部、たけのこ会萩の会も目標達成となりました。

6月1日現勢は2188人となり1月現勢2170人を5か月ぶりに回復しました。

３）特徴

新加入は10代・20代が36.8％、30代・40代40.4％、50代・60代20.5％、70代以上2％となり青年後継者世代の加入が多く、うち国保加入者は33・6％、大半が会社の従業員として厚生年金適用となっています。そのほか、ＣＣＵＳの加入も引き続き伸びています。そのほかの業務利用では自転車共済や火災共済の加入、法人設立の相談、税金や経営相談などです。

４）建設アクション、フードバンク開催

月間中にコロナの傷病手当金や国保の休業手当、減免手続き、事業復活支援金の相談会の開催、フードバンクの開催など「誰一人見捨てない」をかかげた活動もずっと継続をしています。役員活動家の仲間の声掛けで多くの仲間から頼りになる組合への信頼をかちとっています。